

(別紙)「将来都市像」の根拠とすべき「5つの検討材料」の整理

	検討材料	強み・機会	課題・脅威	方向性・キーワード等
(1)市民の意識	市民意識調査	○館山の誇り・宝＝「海」「城山」「夕日」 ○住みやすい点 ＝「自然に恵まれている」 「食材が豊富・食べ物おいしい」	○住みにくい点 ＝「良い仕事先がない」「娯楽施設が不足」 ○不満度&重要度ランキング ＝第1位:雇用、第2位:商業振興	○館山市をイメージする言葉 ＝「自然豊か」「のどかな」「暖かい」
	市民広聴会		○「観光」に関する意見が多い ～宿泊の推進、PR強化、景観づくりなど ○「安全」に関する意見が次に多い ～防災関係、防犯関係、交通安全関係など	
(2)首長の方針	市長インタビュー	○「美しい海」＝前面に出していきたい ○市の一番の自慢は「人」。ホスピタリティがある ○住みたい田舎ランキングで8位(県内ではトップ)	○半導体メーカーが撤退～影響が懸念される ○農業が低調。6次産業化を進めたい	○キャッチフレーズ:「輝く人・美しい自然 元気なまち」 ○「観光立市」を目指す(スポーツ観光も含め) ○少子化対策、雇用創出、移住促進、企業誘致に注力 ○幸福度で東京に負けないまちに
(3)外部環境	時代の潮流		○少子化と人口減少 →購買力・供給力・担税力の低下 ○高齢化の進展⇒医療・福祉・ニーズの高まり	
	都市住民向けWEBアンケート調査	○館山市の認知度＝99.4% ○観光来訪経験あり＝45.7% ○観光訪問の満足度 ＝「景観・雰囲気」:74.9%、「食事」:62.3%	○観光訪問の満足度 ＝「イベント・行事」:24.6%	○館山市をイメージする言葉 ＝「自然豊か」「のどかな」「暖かい」 ・・・市民と同様の認識
(4)データ分析	社会指標分析【15市中の相対比較】	○合計特殊出生率が高い ○昼夜間人口比率が高い(拠点性が高い) ○人口あたり病院・診療所数が多い	○老年人口比率(高齢化率)が高い ○人口当たりの交通事故発生件数が多い	
	人口動向・産業動向	○就従比が高く、市外から日中に人を集めている ○大規模商業施設が多い	○人口減少傾向が続く見込み ○若年層の減少に伴い、高齢化も進む ○近年、2つの大規模製造業事業所が閉鎖 ～今後の継承事業所の動向が注目される	
(5)委員の意見	審議委員の意見			○将来都市像のキーワード ・「住みよさ」「安全・安心」「自然(海)」 「ふるさと・田舎」「誇り」等



主なポイントの整理	①自然が豊か(「海」「夕日」「食べ物」・・・) ②地域での拠点性が高い ③都市住民に、知名度が高い(99.4%) 観光で実際に来訪している比率も高い(45.7%)	①今後も人口減少、高齢化基調が続く見込 ②雇用機会が少ない(市民の不満度が高い) ③「観光」への市民の意見が多い(＝期待が大きい)	①「自然が豊か」「のどかな」「暖かい」というイメージ ②「観光立市」の方向性 ③キーワード:「住みよさ」「安全・安心」「自然」「つながり」
-----------	--	---	---